

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎区第1グループ(旭町・日進町・渡田)	評価対象年度	平成28年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	青少年支援室長
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日	所管課	子ども未来局 青少年支援室

2. 事業実績

利用実績	H27		H28		H27		H28	
	1 旭町子ども文化センター ①年間延べ利用者数	33,364人	35,315人	②年間延べ利用団体数	926団体	959団体		
2 旭町小学校わくわくプラザ ①登録者数	210人	235人	②年間延べ利用者数	14,819人	16,869人			
3 宮前小学校わくわくプラザ ①登録者数	362人	389人	②年間延べ利用者数	25,533人	24,990人			
1 日進町子ども文化センター ①年間延べ利用者数	28,874人	27,336人	②年間延べ利用団体数	346団体	258団体			
2 川崎小学校わくわくプラザ ①登録者数	297人	316人	②年間延べ利用者数	25,164人	23,611人			
3 京町小学校わくわくプラザ ①登録者数	160人	155人	②年間延べ利用者数	9,724人	9,270人			
1 渡田子ども文化センター ①年間延べ利用者数	24,766人	23,334人	②年間延べ利用団体数	181団体	146団体			
2 田島小学校わくわくプラザ ①登録者数	161人	148人	②年間延べ利用者数	10,210人	9,211人			
3 向小学校わくわくプラザ ①登録者数	198人	194人	②年間延べ利用者数	14,795人	12,535人			
収支実績	単位:円 1 収入 指定管理料 148,879,299 2 支出 人件費 122,968,785 管理費 9,301,267 事務経費 7,208,580 その他経費 9,886,827 合計 149,365,459 3 差引 -486,160							
サービス向上の取組	運営協議会、保護者懇談会、子ども運営会議、日常的な利用者とのコミュニケーション等により、利用者ニーズを把握し、館の活動や運営に反映した。また、事業者のスケールメリットを活かした全館行事、区行事やグループ行事など、地域を越えた児童の健全育成、交流の場づくりを実施した。							

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進 及び 事業成果	「仕様書」を遵守して適切な事業の実施がなされているか。	10	4	8
		「事業計画」に基づき、着実な事業の推進がなされているか。			
		「子ども文化センター」の運営をすることにより、児童の健全な育成が図られているか。			
		「わくわくプラザ事業」を実施することにより、放課後児童の健全育成が図られているか。			
	(評価の理由) ・仕様書・事業計画に基づき、子ども文化センター及びわくわくプラザ事業を適正に実施した。 ・川崎区第1グループ合同行事として、市立川崎高校クッキング部と連携し、「食育おでかけ講座」を実施したことで、食の大切さを学んだほか、高校生との交流を図った。 ・また、乳幼児親子を対象とした「こぶらんど」では、川崎もりのこ保育園、川崎区役所保育総合支援担当と協力し、絵本の読み聞かせやエプロンシアターを実施した。 ・日進町子ども文化センターで実施した「もちつき大会」には、かわさき老人福祉・地域交流センター職員・利用者、運営協議会、子ども会指導者が参加したことで、世代間交流の促進が図られた。 ・こうした取組をしてきた結果、グループ全体で、中学生の年間利用者数が約3,600人増加した。				

サービス向上及び業務改善	利用者ニーズ	サービス向上のために、利用者等の意見を適切に把握しているか。	10	3	6
		利用ニーズを把握し、事業実施に適切に反映しているか。			
		苦情対応など、利用者への適切な対応が図られているか。			
	特別な配慮を要する利用者への対応	特別な配慮を要する利用者への対応が適切になされているか。	5	4	4
	学校及び行政機関との連携	事業の実施にあたり、学校及び行政機関、地域の団体等との連携がなされているか。	10	4	8
	施設・事業の広報	施設を知ってもらい、事業の充実を図るための周知の活動等に取り組んでいるか。	5	3	3
	運営協議会の実施	「こども文化センター運営協議会」が適切に運営・開催されているか。	5	3	3
	保護者懇談会の実施	「わくわくプラザ保護者懇談会」が適切に運営・開催されているか。	5	3	3
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者ニーズの把握に向け、各施設に意見箱を設置しているほか、事業実施後のアンケートや日常的に利用者とのコミュニケーションを取ることで積極的な意見収集を行い、運営改善やイベント充実への意見反映に努めている。 特別な配慮を要する利用者への対応について、巡回指導員による「児童対応研修」を実施するとともに、わくわくプラザでは利用児童個々の発達過程・障害の状況把握のため、保護者にアンケートを行うとともに、保護者の了承を得て保育園・学校等との情報を共有、対応マニュアルを全スタッフで共有し、受入後の対応をスムーズに行えるようにした。 地域、学校及び行政機関との連携については、区役所、学校など各方面と協力し事業を実施した。 特に、日進町こども文化センターでは、ボランティアとして参加した学生とのコミュニケーションをきっかけとして、今年度新たに県立川崎高校と連携した「なかよしおでかけクッキング」を実施し、小学生が料理を通じて高校生とふれあう場を提供した。 施設・事業の広報については、利用パンフレットやたよりを発行し、近隣に配布、施設案内や毎月の活動を周知するとともに、ホームページ、ケーブルテレビ、ラジオ、かわさき子育てアプリ等の手段を用いて事業周知を行った。 運営協議会・保護者懇談会については、各施設で実施し、参加者の意見・要望を受け、事業や運営に反映した。 					
組織管理体制	適正な人員配置	「児童福祉施設の設置及び運営の基準に関する条例」第54条に基づく職員配置がなされているか。	10	3	6
		「仕様書」において定める職員配置の最低基準が順守されているか。			
		「川崎市公契約条例」が遵守されているか。			
	職員の研修体制	職員の資質向上のために必要な研修が実施されているか。	10	4	8
職員が研修に参加しやすい仕組みづくりがなされているか。					
個人情報等の取扱	法人として、個人情報保護に関する規定や体制を整備しており、適正に取り組んでいるか。	5	3	3	
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 適正な人員配置については、こども文化センター及びわくわくプラザにおいて、適正に職員が配置されており、利用児童数や特別な配慮を必要とする児童などの状況に応じて、適時、職員を加配するなど、円滑な事業運営が行われていた。 研修体制については、全市・グループ・館ごと、職位ごと、分野ごとの研修など、体系的・計画的かつ多様な研修が行われている。 特に、川崎区で行った「中高生対応研修」では、神奈川県警察本部少年相談・保護センター職員を講師に招き、県内の青少年の犯罪に関わる現状について学ぶなど、運営においての課題を把握し、それに即した研修を行うとともに、スタッフミーティングの場で情報共有するなどにより職員の資質向上に繋がった。 個人情報の取り扱いについては、わくわくプラザ申込書や保険申込書をわくわくプラザのキャビネットに施錠の上保管し、前年度までの書類は施錠できる倉庫に保管した。各書類は保存年数を経過したところで、シュレッダーにより廃棄処分した。 また、講師などから収集する特定個人情報(マイナンバー)についても法人本部に送付の上、専用書庫に保管したことにより、情報漏えいや紛失等の事実はなかった。 					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な施設利用のため、施設や設備の保守・点検を適切に行っているか。	5	3	3
		必要に応じて適切な維持・補修がなされているか。			
		備品等の管理が適切になされているか。			
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保するための体制が整っているか。	5	3	3
		事故等が発生した場合に迅速かつ適切な対応が図られているか。			
		事故防止や感染症予防対策等が事前に図られているか。			
防犯対策及び災害時の対応	施設の防犯対策に工夫がなされているか。	5	4	4	
	災害発生時に備えた対応が図られているか。				
	災害発生時に適切な対応・行動ができる取組がなされているか。				
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設・設備の保守管理について、利用者が安心して利用できるよう、点検に関する事項を定めたチェックリストに基づきスタッフが定期的に点検を行い、必要に応じた維持・補修が行われ、安全確保が図られている。 また、全職員に普通救命講習を受講させ、職員・臨時職員がAEDを使うことができるよう、定期的の実習訓練を行ったほか、わくわくプラザにおいては、申込時等にアレルギーの有無とアレルギーを、保護者とともに確認し把握するなど、様々な安全対策を行っている。 防犯対策については、「不審者対応マニュアル」に基づき、非常時の対応を全職員で共有したほか、利用者とともに安全マップを作成し、児童の防犯意識を高めた。災害時への対応については、各施設ごとにマニュアルを作成するとともに、防災訓練を実施した。 特に、日進町こども文化センターは複合施設であるため、施設内の他の事業所と連携し、合同で消防訓練を2回実施した。 					

収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	法人の規定等に沿った適切な会計処理と金銭管理がなされているか。	5	3	3
	効率的・効果的な支出	「事業計画」に沿った適切な支出がなされているか。	5	3	3
		効率的な執行に努め、経費削減に具体的に取り組んでいるか。			
		支出に見合う効果が効果が得られており、サービス水準も確保されているか。			
(評価の理由) ・金銭管理・会計手続については、適正に行われている。 ・受託20グループ52施設を管理している運営法人のスケールメリットを活かし、一元的な臨時職員の雇用・管理、警備等業務委託の一括契約、消耗品や備品の一括購入等の取組により、効率的・効果的な経費の支出がなされている。					

4. 総合評価

評価点合計	68	評価ランク	C
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

指定管理者制度導入以前から委託事業者として、こども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わっていた経験を活かし、52施設の指定管理者として、法人本部を中心に、全市規模、区規模の合同行事や職員研修、偏りのないサービスの提供が行えている。
運営協議会や地域との協力により、事業を展開する努力が見受けられるが、イベント開催のみの連携だけでなく、地域の実情を把握し、課題を分析を行い、地域社会全体で子どもを見守り育てる環境づくりに向けた取組を、各館にて強化する必要がある。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

引き続き、地域社会全体で子どもを見守り育てる、安全・安心な居場所となるよう、環境整備や職員のスキル向上に努め、職員と子ども、地域の人たちが、共に顔の見える関係を築くため、小中高生から高齢者までの多世代にとって、居心地のよい場となるように努めること。